

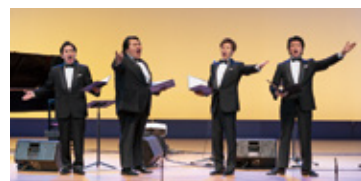
Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

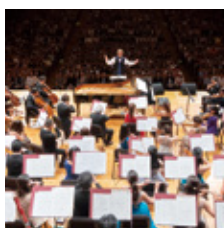
2019.6
vol.134



24th
Miyazaki International
Music Festival



たくさんのご来場、
ありがとうございました。



目次

新しいコンサートシリーズ
「はじめてのクラシック♪」

劇場の地下練習室をご案内

子どもも大人も楽しめる
和楽器体験「Let's 和の音♪」

トライアル・シアター 2019
関根真理さんインタビュー



©K. Miura

ベビーとママ・パパがいっしょにクラシックおんがくをたのしめるあたらしいコンサートシリーズ

赤ちゃんと一緒にクラシックを楽しもう！

はじめてのクラシック♪

コンサートになかなか連れて行く機会のないお子様と一緒に、クラシックを楽しめる新しいコンサートシリーズ「はじめてのクラシック♪」。途中で泣き出しても、話したりしても大丈夫！当劇場の音楽アウトリーチ事業でさまざまな人に音楽を届けてきた演奏家の皆さんが、安心して楽しめるコンサートをお届けします。



©Yuna matsuura

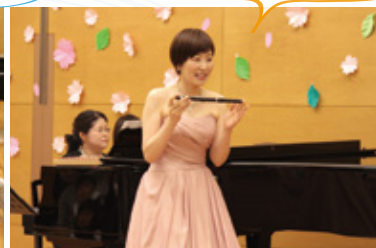
4月に開催した
第1回の様子

会場には
たくさんの親子♪

ピッコロなど
さまざまな楽器も登場♪

熊谷愛香さん(フルート)と
野崎さやかさん(ピアノ)の演奏に、
思わず近寄る子どもの姿も！

記念撮影を楽しめる
“ねんねアート”
もあります！



企画立案者の三雲さんにお話を伺いました！

企画広報課企画制作係

みくも ゆか
三雲 由佳さん

Q.この企画を始めた理由は？

クラシック音楽を「敷居が高い」と感じていたり、いつ子どもが騒ぐか不安でコンサートに連れて行けないと思っている親御さんが多いと思います。そうした敷居が高いというイメージや不安を取り払って、クラシック音楽を楽しんでもらいたい、と思って企画しました。劇場で行っている音楽アウトリーチ事業*で、子ども達と関わる機会が多いんですが、演奏が始まると音に耳を澄ませたり、集中して演奏家を目を追ったりしていて、その姿に先生や保育士の大人がびっくりするんですね。そういうことがあって、子どもでもクラシック音楽をしっかりと聴いてもらえるという感覚がありました。また、お母さんお父さん、大人の皆さんにもリラックスして聴いていただきたいと思っています。子どもを連れて行くと、行ける場所が限られていて気が抜ける場所もないと感じている親御さんも多いのではないのでしょうか。また、他の親御さんとの関わりあひも、保育園に行くまでなかったりするので、そういうのを解消する場・助けになればともっています。子どもだけでなく親御さんにも、リラックスしてクラシック音楽を楽しんでほしい、そういう思いで始めた企画です。

Q.子どもが話したり、動いたりしても大丈夫？

「はじめてのクラシック♪」は、演奏中に親子でしゃべってもいいですし、第1回では、途中演奏家にタッチしに行ったりする子もいましたけど、そういう状況もほほえましいものにできるコンサートになっています。熊谷さんが仰っていたんですが、あるコンサートで演奏が始まったあと子どもが「ママ、すごいね！ピアノきれいだね」ってお母さんに話していて、そのお母さんが周りに遠慮しちゃって会場を後にしてしまう、ということがあったそうです。それがとても悲しくて。会場は広いホールではなく、劇場の地下練習室という小さな空間ですので、ステージ・演奏家との距離が近く、子ども達も集中して音楽を楽しめるようになっています。また会場内も明るく、親子間でコミュニケーションをとりながら楽しめる演奏会ですので、安心してご来場ください。

Q.最後に

どうしてもクラシック音楽に対して、「難しい」「敷居が高い」と思ってらっしゃる大人の方は多いと思います。けれども、子どもはそうではないので、小さい頃からクラシック音楽に触れてもらって、身近なものだという感覚を持ってもらえたらと思います。この先、子ども達がどんな音楽を好きになるかは分かりません。ただ、これからいろんな音楽に触れていく子ども達に、先入観で音を楽しむということを自分で制限してしまわないように、クラシック音楽の持つ無限の広がりを感じてもらえたら嬉しいです。



お客様インタビュー♪

泣いたり騒いだりしないか
不安だったけど…

なおひろくん(1歳)と
ご来場の祖母の幸子さん

知っている曲が多くて、フルートやピッコロの音が良くて楽しかったです。(なおひろくんは)はじめてクラシックを聴いたと思います。泣いたり騒いだりするかもと不安でしたが、演奏が始まるとびたっと演奏家の方を向いて、リズムに乗ったりしていました。人見知りするのかなと思っていたんですが、会場内を笑顔でうろうろ歩き回っていたので、それが驚きでした。



本物の音を聴ける
貴重な機会

りんたろうくん(3歳)、
いちかさん(1歳)のお母さん

本物の音とCDで聴く音とは違うので、こんな間近でこの距離感で本物の音を聴ける機会はあるかと思います。普段は童謡とかアニメの曲ばかりで、クラシックを聴くことがないので、こういう風に触れられるというのも貴重だなと思います。子どもも知ってる曲があったみたいで、楽しんでいました。



子どもが喜ぶ
演奏家との距離感

たまねさん(3歳)、
むつえさん(1歳)のお母さん

こんなにも演奏家と距離感が近いのはなかなかないですね。フルートってどこに口をつけて、どうやって音が出ているのかな、って近くで見せていただいて子どもにはそれがとても嬉しいようでした。子どもも「楽しかった！」って言っていて、終演後に熊谷さんに演奏してもらったチューリップがお気に入りみたいです(笑)。



公演情報

はじめてのクラシック♪ 会場：地下大練習室 2

#2 ~ピアノ~ 7月10日(水) 開演 11:00 ※定員に達したため、受付を終了しました。

#3 ~クラリネット~ 10月9日(水) 開演 11:00

#4 ~フルート~ 2020年1月8日(水) 開演 11:00

料金：全席自由 大人500円(定員40名) 子ども無料

※WEB・電話・窓口での申込み制

#3…8月1日(木)受付開始 #4…11月1日(金)受付開始



詳しくはこちら

こちらの
0歳から親子で
楽しめるコンサートも
チェック！

公演

おんがくのおもちゃ箱シリーズ Part.9 夏休みだよ！全員集合！

7月20日(土) 11:00開演

小さなお子様やママ・パパに大人気のコンサートシリーズ！



詳しくはこちら

巻頭コラム

音楽祭は世代を超えて

24回目の音楽祭が終わりました。「音楽は世代を超えて」というテーマを掲げて、若手と巨匠がそれぞれに或いは一緒に華麗な演奏を繰り広げた22日間は見ごたえ聴きごたえのある日々になったかと思います。三浦文彰さん、辻井伸行さんを先頭に若き演奏家たちが、ズーカーマンさんや徳永二男さんたちの世代が彩ってきた「平成」から、次の時代「令和」の国際音楽祭へのステップを予感させてくれました。

演奏家たちだけが世代を超えて繋がっているのではなく、今年の音楽祭ではお客様にもまた新しい時代の兆しが見えてきました。一つは若い世代のお客様の増加です。「U25割」と呼んでいる25歳以下の半額切符販売が昨年より6割以上も増え、同伴するお子さんが格安の料金で鑑賞できる「親子割」も同じように増加しました。コンサートごとに玄関に立つ私は例年になく若いお客様の存在を肌で感じるようになりました。

そのことはチケット予約方法の変化にも現れました。これまで20%あまりだったネットでの予約者が33%に跳ね上がり、窓口や電話での予約購入者の割合と肩を並べました。徐々にその割合は増えていくでしょうし、私たち劇場の仕事もネットによる販売や営業の比重を増やすことになりそうです。もちろん劇場の窓口にお越しいただく方や電話で頼まれる方たちへのサービスを低下させるわけではありません。

5月3日の「500円コンサートの日」では、7つのコンサートに過去最高の4284人の方が来場されました。その冒頭の「0歳のための音楽会」では、赤ちゃんを抱いた若い夫婦やよちよちのお孫さんの手を引くおじいさん、おばあさんの姿を、私はとても嬉しく見守りました。お客様アンケートでは、「料金以上に楽しめましたし、子育て中の皆さんにもいいリラックスタイムになりますね」「気軽に楽しく、軽食もあって一日家族で過ごせる魅力的な「音楽の日」です」といった感想が寄せられていました。

“音楽祭を支えるお客様を若い人を含めて幅広く”というのが、私がこの数年一生懸命取り組んできたことです。この日は一日中、親子や家族連れが目立ち、そのなかで温かい風景を見ながら、私は「音楽“祭”は世代を超えて」繋がっていくのだと確信に近い思いを抱きました。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場
理事長 佐藤寿美

劇場の 地下練習室 をご案内♪

劇場には演奏会や演劇などが行われている3つのホールがあることは、皆さんご存知ですね！ですが、あまり知られていないのが地下にある練習室。今回、練習室がどんなお部屋なのか、普段どんな利用をされているのか、ご紹介したいと思います♪

ガイド

ありむら あゆか
有村 愛優佳（施設サービス係）

大練習室1～2



ひむか Sound CLUB

大練習室2には、フルコンサートピアノがあります！

大練習室1～2

約100人の大人数で楽器の演奏や合唱の練習ができる一番広い練習室です！鏡も備え付けられているので、演劇・ミュージカル・バレエ・ダンスといった動き回る練習にも向いています。



社交ダンスクラブ ケイ



合唱練習の様子

中練習室1～4



バレエ・ブルミエール/バレエ

中練習室1～4

二番目に広い練習室です。鏡と手すりがあるお部屋は、ダンスやバレエの練習に最適です。リノリウムシートの貸出もあるほか、一部のお部屋ではフラメンコなどのダンスシューズを履いての練習もできます。



宮崎サクソフォンの会



宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団

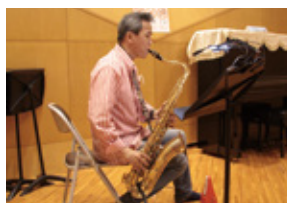
2台のグランドピアノで二重奏ができるお部屋も！

小練習室1～4



小練習室1～4

少人数のグループや個人での練習にちょうどいい広さの練習室です。ドラムやアンプを用いたバンドの練習もできますし、お一人で集中して練習に取り組める空間です。アップライトピアノのあるお部屋もあります。



一人で黙々と練習するにはぴったりのお部屋！

地下練習室利用者の声

・CASE1



チェロ・アンサンブルの練習で利用している中原さん

楽器店の教室でチェロを始めたメンバーが、レッスンだけでなくもっと弾きたいということでアンサンブルを結成し、もう10年以上、毎週ここを使っています。設備も整っているし、使い勝手も良い。3～4人、多くて6人ほどで使っていますが、小練習室は広さもちょうど良く、何より安い！受付スタッフの方の対応も親切で感じが良いし、防音もしっかりしていて、練習するにはとても良い環境だと思います。

・CASE2



ピアノ発表会で披露する連弾の練習に励む横手さん、森さん

短大の頃に同じ音楽科で、卒業後も互いにピアノ教室を開き、合同でピアノ発表会を行っています。10年以上前から、二人での連弾や生徒とのアンサンブルなどで練習室を利用しています。ピアノだけでなく電子楽器などもそろっていて、それらを一緒に使えるのは他ではなかなかないですね。練習室はネットで空き状況が確認できて使いやすく、部屋によっては広々としていて小さい子連れでも安心して利用できています。

ほかにも…

- ・ミーティングルーム
- ・和室

地下練習室のほかにも、会議や勉強会での利用に適したミーティングルームや、日本舞踊の練習などが行われている和室があります。



利用できる3つの時間帯

練習する時間は、次の3つの時間帯からお選びいただけます♪

午前 [9:00～12:00]

午後 [13:00～17:00]

夜間 [18:00～22:00]

地下練習室ご利用までの流れ

Step1

まずは予約！

お電話または窓口で受付しております。お客様のご利用に適した練習室をご案内させていただきます。



Step2

利用までにすること

施設利用の許可申請書への記入（5分程度）と料金のお支払いのみ！



Step3

練習室の利用

練習室をフル活用して、思いっきり練習しよう！



Step4

片付け&鍵の返却

次の人が気持ちよく使えるように、出した椅子などは元通りに♪あとは鍵を返却しておしまい！



お家で楽器や歌の練習をしようとする、どうしても音が気になってしまいますよね。けれども、劇場の練習室ならそんな心配もなく、思いっきり練習ができますよ！私も合唱をやっていますが、地下練習室では周りを気にせず練習に集中できて、気持ちもすっきりします♪「こんな練習でも使えるかな」「いくらぐらいするんだろう」など疑問や不安な点があるかと思いますが、まずはお気軽にお問合せください。

お問い合わせ

☎ 0985-28-3228

火曜～日曜 [受付/9:00～21:30]
※月曜日が祝日の場合は翌平日が休館です。



日本の音に
触れてみよう!

子ども大人も楽しめる和楽器体験

Let's 和の音♪

体験できる5つの楽器をご紹介します!

① 尺八 —しゃくはち—

ただけ 真竹の根っこに近い部分で作り、ゆびあな 指孔を表に4つ、裏に1つ開けて、歌口を斜めにカットしただけの、エアーリード楽器です。名前の由来は、長さが1尺8寸(約54cm)というところからきています。これから1寸短くなるごとに調子が半音高くなり、1寸長くなるごとに半音低くなります。1970年代からアメリカ、オーストラリアで尺八愛好者が増え、現在ではフランス、ドイツ、中国、台湾などでも人気が出ている楽器です。



② 箏 —こと—

奈良時代に中国から伝わってきたといわれる箏。桐でできた本体に^{いと} 絃を張り、柱と呼ばれるものを立てて、音の高さを調整します。右手の親指、人差し指、中指に「爪」をはめて演奏します。絃が13本の箏が主流ですが、20本、25本、30本の箏もあります。箏の各部は龍にみたてた名称と呼ばれ、胴の上面を龍甲、裏面を龍腹、本体の両端を龍頭・龍尾といっています。



③ 篠笛 —しのぶえ—

歌舞伎囃子や民俗芸能などで使用される横笛です。女竹という細い竹に、^{ゆびあな} 指孔を開けて、内側に漆を塗り、割れを防ぐために笛の両端に籐が巻かれています。低い調子から高い調子までさまざまな長さの笛があり、演奏曲などに合わせて選びます。



④ 小鼓 —こつづみ—



「よお〜ポンッ」の音でおなじみの小鼓。桜の木で作られた胴を、鉄の輪を取り付けた馬革2枚で挟み、「調べ」という絹製の紐で締めます。革を適度に湿らせて、「調べ」を強く握ったりゆるめたりして革の張り具合を変化させて、音色や音の高さを打ち分けます。

⑤ 三味線 —しゃみせん—

諸説ありますが、永禄年間(1558-70)に琉球から大坂の堺に沖縄の三線が^{さんしん} 伝来して改良されたものといわれています。胴に張られている皮は猫や犬の皮ですが、最近はカンガルー皮や合成皮なども使用されています。絹糸やテトロン糸などを、バチで演奏します。



昨年のお客様の感想

子どもの方から

- テレビで見たことがあって、触ってみたかった。難しかったけど、楽しかった。
- 初めて三味線を弾きました。夏休みの思い出になりました。
- またやってみたいと思いました。さらに興味がわきました。

大人の方から

- 実際に楽器に触れたことで、いかに難しいことなのかがよくわかり、その分プロの演奏のすばらしさをより実感しながら聴くことができた。
- 楽器に触れて初めてあんなに難しいことをしていたんだと知り、また違う視点から見る・聴くことができました。
- こんなに近くでなかなか触れることのない楽器に触れ、とても嬉しかった。

公演情報

Let's 和の音♪ 会場: アイザックスターンホール

8月10日(土) かじってみよう! 子どもクラス: 10:30 ~ 12:30 / 大人クラス: 14:00 ~ 16:00

8月11日(日) ふれてみよう! & ミニライブ 10:00 ~ 16:00



▲詳しい内容や申込みはこちら

参加者
募集中!

『ベイベーさん～あるいは笑う曲馬団について』

作:中島らも × 構成・演出・音楽:関根真理

今年も新たな挑戦が始まる!パーカッションの関根真理を構成・演出・音楽に迎え、オーディションで決定した出演者たちが、中島らもの戯曲『ベイベーさん～あるいは笑う曲馬団について』の舞台創作に取り組みます。6月1日(土)に行われたオーディション後、関根さんにお話を伺いました。



関根真理

千葉県出身。大学で打楽器に触れ、卒業後活動を開始。2000年よりピクバンド「洪さ知らず」に参加。さまざまなアーティストとの共演も積極的に行っている。演劇作品では串田和美演出作品や、演劇集団「風煉ダンス」の作品等に参加。幼稚園や小学校でのリズム遊びや、まつもと市民芸術館主催の「まつもと演劇工場」でのワークショップなど、ワークショップ活動にも積極的に関わっている。



中島らも

1952年兵庫県尼崎市生まれ。1984年から10年間、朝日新聞で「明るい悩み相談室」を連載。1992年「今夜、すべてのパー」で吉川英治文学新人賞、1994年「ガダラの豚」で日本推理作家協会賞長編賞を受賞。活動は多岐にわたる。1986年には劇団「笑殺軍団リリパット・アーミー」を旗揚げ、1996年にはロックバンド「PISS」を結成。2004年7月26日逝去。



©長阿しのぶ



Interview

インタビュー

——オーディションはいかがでしたか。

楽しかったですね。世代も違えば、やってきたことも経験も違う人たちが参加してくれて。始まる前すごい静けさで、逆に私が緊張しちゃったんだけど(笑)。皆さん、「初めてなので緊張してます!」と言いながら、「やってみよう!」みたいな明るさ・大らかさがあった。だから私も楽しめたし、すごく良かったと思います。

——オーディションでは、打楽器を使ったアンサンブルや、音楽に関するPRなどをしてもらいましたね。

今回の作品は、音楽のシーンをザクザク入れたものにしたいと思ったので、音楽的な部分に挑戦してもらいました。一人ずつのPRコーナーでは、楽器、歌、ダンスなど、それぞれの得意なものを観てもらいました。アンサンブルでは、どんな感じでリズムをとっているか、他の人の演奏を聴けているか、合わせられるか、など。アンサンブルは性格が出るんですね。みんなを見ながらリズムを合わせる人もいれば、自分の演奏に集中する人もいて、いろんな個性を見ることができて良かったです。

また、らもさんのコントにも取り組んでもらい、初対面の人同士で打ち合わせし、工夫をして発表する様子など、短い時間の中でいろいろ見ることができました。

——オーディションを通して、思い描いていた作品の上演イメージはどうになりましたか。

今までは絵に描いた餅だったものが、これはいろいろ実現できるなって思いました。このお話をいただいたときは「朗読+音楽」といったものにしようかと考えていたんですけど、オーディションに参加されている方の様子を見て、方向を変えようと思いました。ただ、らもさんの作品なので、お客さまみんな気楽に観て笑ってね、楽しんでねっていう思いは変えずにやりたいと思います。

——関根さんにとって中島らもさんはどんな人?

子どもの頃に読んだ「明るい悩み相談室」の印象が残っていて、面白いこと言っているおじさんだなんて。すごくまっとうなんだけれども、酒や快楽に溺れてしまう、そんな「ダメさ」が、らもさんの作品からにじみ出ている。ダメなんだけれども、まっとうなところとすごく美しいところがある。私の中では『愛すべきしょうもないおっさん』というくくりですね。このくくりは、私がこれまで関わってきたバンドで出会った、酒飲みだったりしょうもないように見えて実はものすごく美しい音を奏でるミュージシャンたちとリンクするところもあり、とても私にフィットしたんです。そんならもさんという形で関わられて、すごく嬉しいです。

——『ベイベーさん』を上演台本に選んだことについて。

作品を選ぶとき、物語をしっかりと楽しんでもらえて、音楽もざっくりわしわし入っている感じをイメージしていたんですね。そして小難しくなくて、観終わって「楽しかったね」って帰ってもらえるような。この作品は割と短めなんですけど、ストーリーがしっかりしていて、大切なメッセージも込められているんですね。タイトルに「曲馬団」とあるように、サーカスを題材にしているのですが、私の姉がサーカスでピエロをやっていたので親近感がすごくあるし、昔の日本のサーカスにあったある種の切なさもうかがえて、そういうところも気に入って、挑戦してみたいなって。オーディションで出会った人たちの顔を思い浮かべながら、「あれもできるかも、これもできるかも!」といういろいろ考えなおしたいと思います。

トライアル・シアターとは…

舞台芸術界のトップランナーをお迎えし、オーディションで決定した俳優や演劇初体験の出演者たちとともに、約1週間の期間で舞台作品を創作するシリーズ。

公演情報

トライアル・シアター 2019

『ベイベーさん～あるいは笑う曲馬団について』

8月24日(土) 19:00開演 / 25日(日) 14:00開演

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 自主事業公演チケット情報

劇場のFacebookをチェックしよう!

劇場のFacebookでは、公演の詳細な情報やチケットの販売状況をお知らせしているほか、出演者のインタビューやお客様の感想などを掲載しております。アカウントがなくても気軽にご覧いただけますので、ぜひチェックしてみてください♪

Facebookはこちらから▶



メールマガジン配信中!

くれっしえんど倶楽部会員やWEB会員の皆さまに、劇場の公演情報などをメールで配信しておりますので、ぜひ登録してみてください。

WEBからの登録

チケット購入サイトへアクセス ▶ 会員マイページ ▶ 登録内容変更 ▶ メールアドレスの登録 & メール送信の“可”にチェック ▶ 「次へ進む」をクリックし、完了画面が出たらOK

窓口でも登録できますので、ぜひお気軽にお越しください♪

音楽祭の様子を振り返る♪

第24回宮崎国際音楽祭のリハーサルや本番を、音楽祭ブログ「ふれぼ」でお伝えしてきました。公演中には見られない演奏家の様子やインタビューなどもご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

音楽祭ブログ「ふれぼ」はこちら▶



- ### Attention(ご注意)
- ◎記載情報は変更になる場合があります。
 - ◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
 - ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。
※一部公演除く
 - ◎託児サービス(有料・事前申込要)をご利用いただけます。
※一部公演除く

7月10日(水) 開場 10:15 開演 11:00 大練習室2	はじめてのクラシック♪ #2〜ピアノ〜 出演:高場涼子(ピアノ) 全席自由 大人500円 子ども無料 詳細はP1・2▶▶
7月13日(土) 開場 10:30 開演 11:00 アイザックスターンホール	パイプオルガン ブロムナード・コンサート vol.162 『オルブラ』 出演:三上郁代(パイプオルガン)、伊豆詔子(司会・進行) 全席自由 4歳以上500円 なかよしチケット700円(4歳以上の2人1組、前売りのみ)
7月20日(土) 開場 10:30 開演 11:00 アイザックスターンホール	おながくのおもちゃ箱シリーズ Part.9 夏休みだよ!全員集合! 出演:黒木奈津季(ピアノ)、大西映光(ベース)、衛藤和洋(ドラム)、村上由宇月(津軽三味線)、伊豆詔子(司会・進行) 全席自由 4歳未満無料 4歳以上500円 なかよしチケット700円(4歳以上の2人1組、前売りのみ)
7月28日(日) 開場 13:30 開演 14:00 延岡総合文化センター 大ホール	‘19みやざきの舞台芸術シリーズ I 『童謡100年』記念ジョイントコンサート 〜「海沼実と音羽ゆりかご会」を迎えて〜 出演:海沼実 & 音羽ゆりかご会、東北児童合唱団、みやざき童謡を歌う会 全席自由 一般1,000円 子ども(小〜高校生)500円
8月10日(土)〜8月11日(日)	Let's 和の音♪ 8月10日(土)<かじってみよう!>申込締切:7月15日(月・祝) 【子どもクラス】 10:30〜12:30 対象:小学1年生〜中学3年生 ※親子参加可 【大人クラス】 14:00〜16:00 対象:高校1年生〜大人 8月11日(日)<ふれてみよう!&ミニライブ> 10:00〜16:00 対象:どなたでも 申込不要、参加料無料 申込み受付中
宮崎公演 8月18日(日) 開場 13:30 開演 14:00 演劇ホール	ひむかオペラ第4弾 歌劇『ラ・ボエーム』全4幕 出演:梶山達己(指揮)、飯塚勲生(演出)、後藤紀子、吉田伸昭、今村雅彦、伊藤純、山川有希子、柳田啓志、久世安俊、岩元徹、ひむかオペラ合唱団、延岡フィルハーモニー管弦楽団 一般指定席4,000円 一般自由席3,000円 学生自由席(高校生以下)1,000円 ※8月11日(日)に延岡総合文化センターでも上演します。
8月24日(土) 開場 18:30 開演 19:00 8月25日(日) 開場 13:30 開演 14:00 両日とも終演後アフタートークあり イベントホール	トライアル・シアター 2019 『ベビーさん 〜あるいは笑う曲馬団について』 作:中島らも 構成・演出・音楽:関根真理 出演:上杉一馬、門内一郎、上条拳斗、黒木秀美、黒田吉郎、児玉愛弥、小牧祐菜、坂元蓮、恒松大輝、中島佳江子、長田みなみ、長友健太、瀧砂崇浩、松浦航大、元浦由宇汰、山口由美、和田祥吾 全席自由 一般1,500円 [会員1,300円] U25割1,000円 詳細はP6▶▶

8月18日(日)

第24回宮崎国際音楽祭の最後を飾ったブッチェーの傑作「ラ・ボエーム」が、8月に再び上演。県北地域の音楽文化振興の一翼を担う、ひむかオペラ協議会によるオペラ作品第4弾。音楽祭で行われたコンサート形式とは違い、物語の世界を表現した舞台上で役者の演技が存分に発揮されるオペラを、ぜひお楽しみください。

あらすじ

舞台は19世紀のフランス、パリ。とあるアパートの屋根裏に暮らす若者たち。その一人、詩人・ロドルフォのところに、お針子・ミミが火を借りにやってくる。暗がりの中で、またたくまに恋に落ちた二人。楽しい日々が流れていくが、二人の愛に冬が訪れる。病に冒されているミミを、貧乏故に助けてあげられず無力感に苛まれるロドルフォ。思わずつれない態度をとる彼の本心を、偶然にも知ってしまったミミ。二人は春の花咲く季節に別れを約束するが……。

歌劇『ラ・ボエーム』 全4幕

参加者募集中!

ヴィヴァルディ「グローリア」合唱団員・ソリスト募集!

来年1月13日(月・祝)に上演する「グローリア」では、県民による合唱団の皆さまと、ソリスト・古楽アンサンブルとともに演奏します。ぜひこの機会に、参加してみませんか?

詳細はこちら▶

日時 8月12日(月・祝) 14:00〜16:00
会場 大練習室2
対象 18歳以上(高校生不可・経験不問)
料金 1,000円
申込締切: 7/14(日)必着

井出茂太 ダンスワークショップ

ダンス作品の振付・演出はもちろん、演劇やCM・ミュージックビデオの振付など幅広いジャンルで活躍中の井出茂太氏(イデビアン・クルー)によるダンスワークショップです!ダンスの経験は問いません。一緒に身体を動かしてみませんか?

日時 8月12日(月・祝) 14:00〜16:00
会場 大練習室2
対象 18歳以上(高校生不可・経験不問)
料金 1,000円
申込締切: 7/26(金)必着